



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 天昇電気工業株式会社
コード番号 6776 URL <http://www.tensho-plastic.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 石川 忠彦
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長 (氏名) 横山 彰

TEL 042-788-1880

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	7,009	0.5	213	74.3	193	120.3	188	189.0
27年3月期第2四半期	6,973	7.8	122	△24.3	87	△24.4	65	△27.8

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 88百万円 (△51.7%) 27年3月期第2四半期 183百万円 (△12.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
28年3月期第2四半期	11.38	11.30
27年3月期第2四半期	3.95	3.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
28年3月期第2四半期	15,618	3,326	21.2	200.52
27年3月期	16,032	3,237	20.1	195.34

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,316百万円 27年3月期 3,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	14,700	3.4	450	67.7	330	21.7	220	53.4	13.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	17,014,000 株	27年3月期	17,014,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	472,421 株	27年3月期	499,276 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	16,529,639 株	27年3月期2Q	16,487,366 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、本資料の発表日において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P2
(1) 経営成績に関する説明	P2
(2) 財政状態に関する説明	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	P4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P4
3. 四半期連結財務諸表	P5
(1) 四半期連結貸借対照表	P5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	P7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	P8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P11
(継続企業の前提に関する注記)	P11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P11
(セグメント情報等)	P11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国は、円安・株高基調は継続し、企業業績も改善しているものの、個人消費につきましては回復が遅れている状況となっております。また、中国経済の減速の影響等先行きの不透明感があります。

当社グループが属する成形業界におきましては、引続き自動車関連は好調に推移いたしております。一方家電関連は、海外生産から一部国内回帰の動きが見られますが、全体としては引続き弱含みの状況で推移いたしております。

このような状況の下、当社グループは売上高拡大に向け既存顧客への更なる深耕、新規顧客の開拓に注力いたしました結果、売上高は70億9百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。損益につきましては、材料効率改善、人員配置の見直し等の効果により営業利益は2億13百万円（前年同四半期比74.3%増）、営業外収益に受取配当金21百万円等を計上したことから、経常利益は1億93百万円（前年同四半期比120.3%増）となりました。特別利益に固定資産売却益33百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億88百万円（前年同四半期比189.0%増）となりました。

セグメントごとの状況は、以下のとおりであります。

日本成形関連事業

自動車部品につきましては、好調に推移し前年同四半期比増収となっております。

物流産業資材関連は、復興需要が一段落したこと等により前年四半期比減収となりました。この結果、売上高は、65億59百万円（前年同四半期比0.3%増）、セグメント利益は69百万円（前年同四半期比570.4%増）となりました。

中国成形関連事業

中国事業は、中国国内向け物流産業資材を中心としております。売上高は2億38百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント損失は19百万円（前年同四半期は49百万円の損失）となりました。

不動産関連事業

相模原市、伊賀市、伊那市の賃貸建物及び二本松所在の土地から構成されております。

売上高は2億11百万円（前年同四半期は2億11百万円）、セグメント利益は1億63百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億14百万円減少し、156億18百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1億22百万円増加し、74億85百万円となりました。主に現金及び預金が1億91百万円、棚卸資産81百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が1億48百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ5億36百万円減少し、81億33百万円となりました。主に設備投資4億1百万円と減価償却費5億91百万円、投資有価証券売却1億74百万円等によるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ5億2百万円減少し、122億92百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ4億36百万円減少し、73億18百万円となりました。主に支払手形及び買掛金72百万円、借入金1億90百万円、リース債務1億17百万円、設備支払手形1億46百万円の減少等によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、49億73百万円となりました。主に繰延税金負債が53百万円減少したこと等によるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ88百万円増加し、33億26百万円となりました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億88百万円の計上、その他有価証券評価差額金1億15百万円の減少等によるものであります。

④キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金同等物は、前連結会計年度末に比べ1億91百万円増加し、31億66百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは7億37百万円の収入となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益2億26百万円の計上、減価償却費5億91百万円の計上、売上債権の減少1億27百万円、棚卸資産の増加80百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは2億61百万円の支出となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入1億69百万円、有形固定資産の取得による支出4億72百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは2億94百万円の支出となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出10億29百万円、リース債務の返済による支出1億14百万円、長期借入れによる収入9億円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期(累計)では、前期から取り組んでおりました効率化及び経費削減効果が実績として表れ営業利益以下予想を上回りました。平成28年3月期の連結業績につきましては、平成28年3月期第2四半期(累計)の上振れ分を加味し、平成27年5月15日に公表した通期の連結業績予想を以下のとおり上方修正いたします。

平成28年3月期の連結業績予想

売上高	14,700百万円
営業利益	450百万円
経常利益	330百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	220百万円

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合は、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,084	3,276
受取手形及び売掛金	2,745	2,597
電子記録債権	550	574
製品	364	468
原材料	357	336
仕掛品	48	45
その他	211	185
流動資産合計	7,363	7,485
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,291	2,215
土地	2,610	2,610
その他(純額)	1,455	1,327
有形固定資産合計	6,357	6,153
無形固定資産	14	22
投資その他の資産		
投資有価証券	2,120	1,792
その他	202	190
貸倒引当金	△26	△25
投資その他の資産合計	2,297	1,957
固定資産合計	8,669	8,133
資産合計	16,032	15,618
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,588	3,515
短期借入金	850	800
1年内返済予定の長期借入金	1,920	1,780
未払法人税等	24	48
賞与引当金	116	137
その他	1,253	1,036
流動負債合計	7,754	7,318
固定負債		
長期借入金	4,293	4,304
資産除去債務	37	37
その他	709	632
固定負債合計	5,040	4,973
負債合計	12,794	12,292

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	897	897
利益剰余金	952	1,140
自己株式	△50	△48
株主資本合計	3,008	3,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	177	61
繰延ヘッジ損益	△16	△13
為替換算調整勘定	57	70
その他の包括利益累計額合計	218	118
新株予約権	11	9
純資産合計	3,237	3,326
負債純資産合計	16,032	15,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	6,973	7,009
売上原価	5,902	5,792
売上総利益	1,071	1,216
販売費及び一般管理費	948	1,003
営業利益	122	213
営業外収益		
受取利息	8	0
受取配当金	2	21
為替差益	27	3
持分法による投資利益	—	5
その他	19	14
営業外収益合計	58	46
営業外費用		
支払利息	79	64
持分法による投資損失	11	—
その他	1	1
営業外費用合計	92	65
経常利益	87	193
特別利益		
固定資産売却益	1	33
特別利益合計	1	33
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	2	0
投資有価証券売却損	14	—
特別損失合計	17	0
税金等調整前四半期純利益	72	226
法人税等	7	38
四半期純利益	65	188
親会社株主に帰属する四半期純利益	65	188

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	65	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	138	△115
繰延ヘッジ損益	3	2
為替換算調整勘定	△19	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	8
その他の包括利益合計	118	△99
四半期包括利益	183	88
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183	88
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	72	226
減価償却費	451	591
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	21
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2	△0
受取利息及び受取配当金	△11	△22
支払利息	79	64
為替差損益 (△は益)	△17	△4
持分法による投資損益 (△は益)	11	△5
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△33
有形固定資産除却損	2	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	14	—
売上債権の増減額 (△は増加)	133	127
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△24	△80
仕入債務の増減額 (△は減少)	△138	△73
未収入金の増減額 (△は増加)	3	8
未払消費税等の増減額 (△は減少)	13	△46
その他	△134	△26
小計	452	745
利息及び配当金の受取額	23	22
利息の支払額	△78	△63
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△92	32
手数料の支払額	△49	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	256	737
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100	100
定期預金の預入による支出	△100	△100
有形固定資産の取得による支出	△250	△472
有形固定資産の売却による収入	10	42
無形固定資産の取得による支出	△2	△2
関係会社株式の売却による収入	38	—
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	169
貸付けによる支出	△83	—
貸付金の回収による収入	396	0
その他	△0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	107	△261

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△450	△50
長期借入れによる収入	350	900
長期借入金の返済による支出	△1,124	△1,029
セール・アンド・リースバックによる収入	23	—
リース債務の返済による支出	△202	△114
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,403	△294
現金及び現金同等物に係る換算差額	21	9
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,017	191
現金及び現金同等物の期首残高	3,675	2,974
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,657	3,166

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	6,540	221	211	6,973	—	6,973
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	21	—	21	△21	—
計	6,540	243	211	6,994	△21	6,973
セグメント利益又は損失(△)	10	△49	161	122	—	122

- (注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去21百万円であります。
2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本成形 関連事業	中国成形 関連事業	不動産 関連事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	6,559	238	211	7,009	—	7,009
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	21	—	22	△22	—
計	6,559	260	211	7,031	△22	7,009
セグメント利益又は損失(△)	69	△19	163	213	—	213

- (注) 1. セグメントの調整額は、セグメント間取引消去22百万円であります。
2. 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。